

①



① 錦帯橋の篝火

錦帯橋が篝火の炎に照らし出され、
幻想的な風景が広がった

②③④⑤ 篝火と和の奏

2日間にわたり、尺八や箏、笛、琵琶など
日本の情感を感じられる和楽器の演奏会が行われた



⑤



④



③



②

市政 PICK-UP

錦帯橋の美と文化芸術の共演

世界に誇る木造橋である錦帯橋を守り続け、文化芸術により魅力をさらに高めようと、11月25日〜27日、錦帯橋周辺で「錦帯橋千年プロジェクト―錦帯橋芸術祭―」が行われました。3日間を通して、夕方から錦帯橋沿いの川面と両岸に篝火が設置され、幻想的な風景に多くの人々が魅了されました。鶺鴒広場特設ステージでは「文化芸術団体のステージ」として、地元ゆかりの文化芸術・民俗芸能団体による演奏や演舞

錦帯橋千年プロジェクト ― 錦帯橋芸術祭 ―

が披露されました。辺りが完全に暗闇に包まれる頃には「篝火と和の奏」と題して国内外で活躍する演奏家による尺八や箏、笛、琵琶などの演奏会が開かれ、観客は美しい音色に耳を傾けていました。そのほかにも錦帯橋模型の組み立て体験や短歌・俳句・川柳の募集、フォトコンテストなどが開催され、参加者は多彩な催しを通して文化芸術に親しみました。

関文化振興課 ☎ 295211



▲和楽器の演奏ステージには、寒空の下多くの観客が訪れた

違いを認め合い 皆で笑顔に

11月22日、シンフォニア岩国で「じんけんフェスタ2016 in いわくに」が開催されました。

フェスタは人権問題に対する正しい理解と認識を深めるために毎年開催されています。

式典では、市内の中学・高校生から公募したポスター、標語詩、作文の部門で優秀作品に選ばれた生徒と学校賞の表彰があり、福田良彦市長から表彰状が贈られました。また詩・作文の部門で特選を受賞した生徒によ



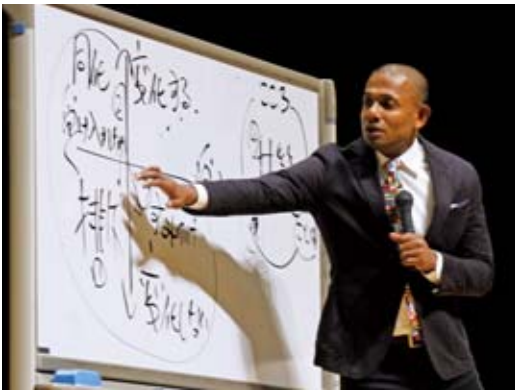
▲表彰を受ける生徒たち

じんけんフェスタ 2016 in いわくに

る作品の朗読が行われ、会場から大きな拍手が送られました。

記念講演では、羽衣国際大学教授でありタレントのにしやん氏が「違いを楽しみ、力に変える〜多文化共生「新」時代〜」という演題で「私たちの周りには違いしかない。そのことに気づき、違いとの正しい付き合い方をしていく事が大切」と、違いを認め合う大切さについてユームアを交えながら話しました。

岡人権課 ☎ 295080



▲相手を受け入れ自分も変化することで互いに笑顔になれる「共笑」の社会を目指そうと話すにしやん氏

世界文化遺産登録へ大きな一歩



▲登録に向けた取り組みが、市にとどまらず県民一体となった取り組みに発展してほしいと話す福田市長



▲世界文化遺産登録に向けて、一致団結し推進していくことを表明

錦帯橋の世界文化遺産登録へ向けて、11月27日、岩国市と山口県、市民団体などで構成される錦帯橋世界文化遺産登録推進協議会が設立されました。

会は県民一体となって取り組む機運を高めるとともに、錦帯橋の普遍的価値についての普及啓発や情報発信の取り組みを連携・協働して行うことを基本方針としています。

今後は世界文化遺産の国内暫定一覧表への掲載に向けて、ポスターやホームページの作成、

錦帯橋世界文化遺産登録推進協議会

公募によるロゴ作成、シンポジウムの開催を計画しているほか、平成30年度中には錦帯橋論文集の作成、提案書の文化庁提出を予定しています。

協議会の副会長に就任した福田良彦市長は「会の設立は世界遺産登録へ向けた大きな一歩。一致団結して取り組みたい」とあいさつし、会長の村岡嗣政知事は「この協議会が中心となって世界遺産登録という目標に向かっていきたい」と述べました。

岡錦帯橋課 ☎ 295107